

平成28年7月

大野市教育委員会臨時会

会議録

日 時：平成28年7月14日（木）午後3時00分～5時20分

場 所：大野市役所 談話室

大野市教育委員会 7月臨時会

平成28年7月14日(木)

午後3時～談話室

1. 開 会

会議録署名人

清水委員

山川委員

2. 付議事項

1) 小中学校再編計画(案)について

2) その他

- ・総合教育会議 7月21日(木) 午後3時から 談話室
- ・7月定例会教育委員会 7月28日(木) 午後3時から 談話室

3. 閉 会

<出席者>

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| | 委員長 | 洞 口 幸 夫 |
| | 職務代理者 | 清 水 美 那 子 |
| | 委 員 | 山 川 秀 |
| | 委 員 | 妙 願 貴 子 |
| | 委 員 | 松 田 公 二 |
| 事務局（説明者） | 教育長（再掲） | 松 田 公 二 |
| | 事務局長 | 小川 市右エ門 |
| | 教育総務課長 | 木戸口 正 和 |
| | 学校教育審議監 | 道 鎮 栄 一 |
| （書 記） | 教育総務課課長補佐 | 山 田 靖 子 |

【大野市教育理念の唱和】

【開会・点呼】

【委員長】ただ今から、7月臨時教育委員会を始めさせていただきます。

皆さん方には、お忙しいところご出席いただき、ご苦労様でございます。

前もって資料を送付頂いておりますので、今日は細かく検討させていただきたいと思っております。

【会議録署名人】

【委員長】本日の会議録署名人は、清水委員さん、山川委員さんのお二人にお願いすることになります。

【議 事】

【委員長】では、早速、2番目の付議事項に入ります。

付議事項一番目の大野市小中学校再編計画（案）について、事務局の説明をお願いします。

【局長】では、大野市小中学校再編計画（案）について説明します。お手元に、計画（案）をお示しさせていただきました。

——<資料説明>——

【委員長】ただ今、説明がありましたが、協議をどの様に進めますか。1頁から順に確認していきましょうか。

では、1頁で何かご意見がありましたら、お願いします。

冒頭の「大野市教育委員会では」を「大野市教育委員会は」にしてはどうですか。

下から2行目「教育環境を充実することを」を「教育環境の充実を」に修正してはどうですか。

【局長】そのように修正します。

【委員長】続いて2頁、ご意見があればお願いします。

【山川委員】表1のグラフに、平成35年と平成38年を明記しないのはなぜですか。

【局長】再編の時期を示していないので、ここには記載していません。10頁に平成35年と平成38年の児童生徒数を示しています。

表1に記載したほうが良いということであれば、検討します。

【妙願意員】4頁の表5の現状に対して、再編後の配置状況表を載せてはどうでしょう。

再編後の学校には、音楽、美術、技術、家庭科これら全てにおいて、免許所有教員が配置されるのですよね。

【教育長】それは、間違いありません。本文では、7頁の3～5行目に記載しています。

【妙願意員】再編計画を示した9頁の後に配置状況表をつけるべきだと思います。

【教育長】再編後の10頁に免許所有教員の配置状況表をつけることを検討します。

【委員長】5頁本文9～10頁、「約半数の学校が対象としてふさわしくないこととなります。」という文は、「10年後には」という言葉が入ってこないと使えないと思います。検討してください。

【学校教育審議監】耐用年数がきたら、という意味で書いています。現在、既に耐用年数が来ているものは開成中学校と陽明中学校です。

【山川委員】「この先、10年以内には」という言葉を入れますか。

【教育長】「近年中には」とさせていただきます。

【委員長】この本文の内容を説明するために、長寿命化改修の対象としてふさわしくない学校が多いことが分かるように、下に、建築年と経過年数の表を追加してはどうですか。

【局長】建築年だけ入れた表でもいいですね。

【学校教育審議監】本文の説明として、ここの文章の理解を助けるような表を載せてはどうでしょう。平成28年度時点の経過年数を入れるとよく分かると思います。

【委員長】11頁の表7を利用して、平成28年の上に経過年数を入れるとどうですか。

【教育長】11頁の表7に経過年数を入れると、建築年か経過年か分からなくなります。入れるのなら「〇〇年経過」という言葉にしないと、数字だけでは分かりにくい。

【教育長】11頁の表を活用し、平成28年度時点の経過年数をいれた表を記載したらどうですか。そして、11頁の表には平成28年度という文言は取ってしまつて。

【教育総務課長補佐】確認ですが、13頁にも建築経過年数の表があります。

また、今のご提案では5頁と11頁に同じような表を載せるということですが、よろしいですか。

【委員長】5頁には、建築年と経過年を記載した11頁と違った表を作成して載せてもいいと思います。

【妙願委員】5頁と11頁に同じような表を載せると、混同しませんか。

【教育長】色を変えるなど、工夫をすれば大丈夫だと思います。

【山川委員】分かり易いほうがいいですね。

【委員長】2つの意見がありますが、どちらにするか、事務局にお任せします。

5頁の本文、下から3行目に「近年中には」を入れて下さい。

【山川委員】5頁下から2行目、「耐震工事を行った校舎が」を「耐震工事を行った校舎でも」と変更してはどうでしょう。

【局長】前は、「より耐震性を確保する必要があります。」というふうに書きました。

【委員長】8頁、(6)の最後の文章「児童生徒に魅力的な空間で」を「児童生徒に魅力的な教育環境で」と変えたほうがいいのではないですか。

【教育長】タイトルが「学校空間づくり」となっているので、「児童生徒に魅力的な学校空間で」とさせていただきます。

ユニバーサルデザインという言葉、障害のある人へ配慮した記載が必要ではないでしょうか。

【委員長】1行目の「学習・生活の場である学校が、安全で快適な」を「学習・生活の場である学校が、ユニバーサルデザインを取り入れた安全で快適な」とするのですね。

また、9頁、1 基本となる考え方 (1)で、「改善を目的とします。」はもう少し具体的に「改善・適正規模化を目的とします。」としてはどうですか。

【教育長】9頁本文1行目、「再編を進めます」の中に適正規模化が含まれていると考えています。「改善を目的とします。」は、再編の目的とごっちゃになる可能性があるので「改善を図ります。」の言葉のほうがいいと思います。

9頁、その他、二箇所修正をお願いします。下から4行目、「再編を和泉中学校も含めて」を「再編は和泉中学校も含めて」に、「小学校については、3年後の」を「小学校については、その3年後の」に修正させていただきたい。

【委員長】10頁の表6、小学校の1年生の児童数は181人となっているが、資料2頁の出生者数の推計値176人からみると多いのではないですか。整合性を取る必要がありますね。

【教育総務課長】調べます。中学校は、既に生まれている子どもなので現在の児童数を合計しているので、だいたいあっています。

【教育長】小学校5、6年生も既に生まれている子どもなので、その数を書くと説明しやすい。

【委員長】質問を受けたときに、根拠をきちんと説明できればそれでいいです。

【教育長】表6は、学級の定数が上の欄外に括弧書きされていますが、下に書いたほうが読みやすい、わかりやすいと思います。

小学校3年生と4年生は定数35人となっていますが、40人ではないですか。

【学校教育審議監】調べてみます。

【委員長】住民説明会に行くと、その辺よく分かっている人がいて、質問をされるでしょう。説明のできる資料を準備しておいたほうがいいですね。

【教育長】10頁の表6の次に表7として、4頁の表5を参考に、再編後の中学校免許所有教員の配置状況を入れてはどうでしょう。

【妙願委員】再編にかかる施設整備に、いくらかかるのか書くべきだと思います。

【学校教育審議監】建設場所が決まらないと、金額を計算できません。

【委員長】建設用地はあるのですか。

【教育長】建物は、ある程度計算できます。建設場所は、平成29年度に策定する小中学校再編整備基本構想の中で決定します。

【清水委員】小浜市では、3小学校を1つの小学校に再編していますが、3年前から準備していました。大野市の中学校も平成35年という、そんなに先の話ではないですね。

【委員長】平成29年度は大変な年になりそうですね。

14頁、本文4行目。「思慮」とありますが、「思料」とどっちの文言が適切ですか。「思慮」は、考えてわきまえる、「思料」は、あれこれ思い巡らすという意味です。

【教育総務課長】このまま「思慮」という言葉を使わせていただきたいと思います。

【清水委員】資料5頁の再編推進協議会設置要綱ですが、委員8名の根拠は、何ですか。

【局長】特に、根拠はないです。地区内の各種団体に入ってもらおうということで、案として提示させていただきました。

【清水委員】婦人会とか女性の代表がいないように思うのですが、入ってもらおうというのはどうですか。

また、学識経験者とは、どんな方ですか。

【局長】女性の代表が必要ということならそれぞれの地区で検討していただければいいと思います。

学識経験者は、特にこんな方という想定はないですが、退職した先生などは、学識経験者になると思います。

それでは、再編推進協議会設置要綱第3条の第1項第8号の次に「その他教育委員会が必要と認める者」を第9号として追加するということにさせていただきたいと思えます。

【委員長】再編の際、複式の対応はどうするのですか。

【教育長】再編までに、未履修をなくすように準備します。再編の前か後かに、県が、講師を配置してくれます。再編前に乾側小学校、小山小学校、阪谷小学校、和泉小学校の完全複式の4つの小学校に、講師を配置いただいて、再編の準備を行いたいと考えています。

【山川委員】資料3、表の下、「B 平成20年度以降に廃止や統合した部活動」で、上庄中学校と和泉中学校は「なし」となっているが、ないのなら書かなくてもいいのではないですか。

【局長】全学校について記載したいので、「廃止・統合なし」と表記させていただきたいと思えます。

【妙願委員】資料4頁に、学校所有財産の取り扱いについてと書かれていますが、どうするのですか。

【教育長】基本的には、再編先の学校に移管、例えば森目小学校の物品は、再編先の富田小学校に移管するという方針でやってきています。

【教育総務課長】蕨生小学校の再編の際は、必要なものは富田小学校へ移管して、残りの備品などは、希望する市内の他小中学校へ移管、譲渡しました。

今回の再編計画(案)のようにたくさんの学校が一度に再編する場合は、保管場所をどうするか検討しなければならないと思っています。

【教育長】いろんな形、方法で保管していかないといけません。学校や倉庫を借り上げるということも必要になるかもしれません。

【山川委員】公民館に置くということも、あるかもしれませんね。

【清水委員】13頁、校舎の建て替えにかかる経費で、和泉小学校の屋体(体育館)は、小学校だけ計算されていますが、中学校はないのですか。

【教育総務課長】体育館は、小学校の施設という位置づけで、施設台帳に載せています。

【委員長】そのほかに、何かありませんか。

【局長】本日頂いたご意見を検討して、来週の総合教育会議に諮りたいと思えます。

皆様のご出席をお願いします。

【委員長】そのほかになければ、以上で、7月臨時教育委員会を終了します。どうもご苦労様でした。

午後5時20分終了

平成28年8月25日

(清水委員)

(山川委員)